

事務局：(財) 奈良県緑化推進協会内

〒630-8301 奈良市高畑町 1116-6

TEL 0742-24-0200 FAX 0742-24-2110

メールアドレス：gvnc@nifty.com

ホームページ：<http://homepage2.nifty.com/gvnc>

● 主な活動の記録 (7月～9月)

7月10日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

暑い日にもかかわらず、40名弱が参加。午前中は「野鳥の森」での下草刈り、炭窯用薪割りと、「山の日・川の日」はじめ、今・来月開催のイベントの際実施するクラフト用材料作り等を行った。

午後は、午前に引続いての作業に加え、駐車場周辺のツツジ・アジサイの剪定や道具類の手入れを行った。

7月19日～20日 「山の日・川の日」イベント クラフト指導

例年矢田山遊びの森で実施されてきたが、本年は平城遷都1300年祭にあわせ、平城宮跡会場内「交流ホール」で、みんな集れ「山の日・川の日」～森林の恵み発見！～をテーマに開催された。19日朝開会式に続いて、

(財) 奈良県緑化推進協会が募集した緑化作品コンクール、絵画と標語で入選した児童・生徒の表彰式後、

お祝に駆け付けてくれたせんとくんと一緒に記念撮影が行われた。本イベントに協賛する各種団体から、

参加体験型と展示学習型の多数の出展があるなか、奈良県森林ボランティア連絡協議会として、当クラブ

も参加。木工クラフトの指導を実施。19日はモクマルくん・万葉樹木の葉づくり、20日は小枝のモックン・

竹笛づくりと内容を変えての指導。19日は祝日でもあり多数の参加者が見込まれる事から材料に限りある

ため、一人一作品に制限。11時頃には毎年本イベントに参加してくれるサタデースクールの親子づれが

多数きてくれ活況を呈した。午後には、せんとくんの再度の出現と天平美人の一行が訪れてくれ彩りを添

えてくれた。屋内での開催とはいえ、両日ともに外は日中35℃近くの真夏日となりかなり暑かった。

入選者とせんとくん

準備中

作成中

天平美人一行



7月24日(土) 「山と森林の月間」協賛イベント

”森であそぼうー森の観察と作業体験、料理体験、クラフトづくりー”を一般の参加を募って、矢田山遊びの森で開催。参加者は120名強の応募者があったなかから、予め抽選で選ばれた定員の親子づれ60名近くと、当クラブ員約30名。まず、上田代表のイベントの趣旨説明を受けてから、4班に分かれ、森林作業下草刈りを体験すべく近くの野鳥の森へ。子供たちの多くは初めて鎌を使うため、リーダー・サブリーダー並びに補助として各班に割振った当クラブ員が、安全な作業の仕方について、一人一人に丁寧に教えながら刈り進んだ。一部は隣接の雑木林にて鋸で灌木の除伐体験も行った。作業終了後、自然観察を兼ねての散策をしながら料理体験館へ戻った。同館近くでヒノキの間伐材の皮むきを終えた後、昼食に用意された握りたてのおにぎりを頬張った。午後は、クラフトづくり(モクマルくん)とバームクーヘンづくりを班別に二手に分かれ、交互に体験し、最後にアンケートに感想を記入してもらって解散。

草刈り体験



除伐体験



皮むき



炭窯の見学



バームクーヘンづくり



クラフトづくり



作品の一例



8月14日（土） イベントー森林作業体験、カレーづくり、クラフトづくり

「山と森林の月間」協賛イベントで、先月に続き第2回目。今回も多数の応募者の中から抽選で選ばれた約60名の親子づれが参加、当クラブ員25名と共に実施。まず料理体験として、カレー用の具材、ジャガイモ・人参・玉ねぎの皮むきを子ども達の手やってもらった。心配そうに手元を覗き込む保護者が散見された。次いで森林作業体験として、近くの野鳥の森植栽地で鎌の使い方の説明を受けながら下草刈り。暑さもあり疲れがみえてきた頃作業を終了し、自然観察をしながら料理体験館に戻ると、昼食のカレーが出来あがっていた。午後は、1) ヒノキの間伐材の皮むき体験、2) クラフトづくりー竹笛とイタドリを使ってのブー笛づくりーを二手に分かれ交互に実施。最後にアンケートに記入してもらい今後の定例活動等への参加を呼びかけて解散。

当日、上記イベントと平行して、県の助成事業である「森林整備等普及活動支援事業」の一環として、市民の地球温暖化防止・森林整備の理解と関心を深めてもらうことを目的として、ヒノキの間伐材を利用してのベンチづくりを一般の参加者を募って実施。予め準備しておいた部材を使って穴あけ、ネジ止めしながら組立て電気カンナをかけ、最後に腐蝕防止を兼ね焼きを付けて完成し、持帰ってもらった。

具材の皮むき



草刈り



自然観察



ヒノキの皮むき



笛づくり



ベンチづくり



8月20～21日(土) 「森の学校」 クラフト指導

県中部農林振興事務所が「山と森林の月間」協賛事業として、二上山ふるさと公園ふたかみパークおもちゃ館の近くで開校、当クラブより延べ6名が自然観察とクラフト(竹笛・ジージーゼミづくり)の指導にあたった。両日ともに猛暑日なみの暑さの中、近くの水場で遊んでいた者はじめ、元気な多くの子ども達が参加。

まず、森林の働きや動植物に関するパネルを見ながら、森林環境クイズを解いてからクラフトづくりに取り組んだ。汗をかきながら作り上げ、うまく音がでるとニコリ。自然観察会は展望台までの遊歩道脇の草木の説明を聞きながら小一時間かけて往復。途中葉っぱを使っただけの遊びを体験した。

8月28日(土) イベントー森林作業体験、ピザ・クラフトづくり

「山と森林の月間」協賛イベント3回目を夏休み最後の週末となるこの日に開催。前2回に比し、更に多くの参加申込みがあったが抽選で定員をやや上回る方々に当選通知をしたものの、連日猛暑続きで体調を崩したか、夏休みの総仕上げで忙しかったのか、取止めやドタキャンもあり、当日は親子連れ約40名の参加と当クラブ員約30名で実施。バイオマスとしてのヒノキの間伐材を利用した、かまどでのご飯炊きを見て、森林作業として植栽地にて鎌での下草刈り、ノコギリで雑木の除伐体験を終え、料理体験館への道すがら自然観察。もう一つの料理体験としてピザづくり。それぞれの好みに合わせてトッピングをし、ピザ窯に入れ、これも間伐材を薪として焼き上げ早速味わい、昼食として先に炊きあがったご飯で作ったお握りを頬張った。

午後は、クラフト(ジージーゼミづくり)と間伐材の皮むき・輪切りを体験、最後にアンケートに記入してもらい、またの機会に活動への参加を呼びかけて終了。

子ども達の夏休みのこの一日が楽しい思い出となることを願いながら帰路についた。

ご飯炊き



除 伐



まだかな?ーピザ



クラフト



9月11日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

30数名が参加。午前中は大半が下草刈りに「野鳥の森」に入り、一部が駐車場周辺のツツジの手入れ、刈り払い機の整備を行った。

午後には間伐材を予め製材した各種の厚さの材をベンチ、プランター作成のサイズ用に引き割りをし、乾燥のように積上げた。また10月前半各種イベント・事業があり、これへの参加者を募ると共に、人員の割振りを行った。

9月18日(土) 里山林機能回復整備事業ー森林環境税対象

二上山々麓登山道沿い民有里山の整備を3年前にはじめ、最終年でかつ本年度3回目が最後となるこの日、新入(大学院生)一名を含む8名が参加。点検を兼ねて一部切り残している雑木の除伐、背丈以上に大きく伸びたササの刈取り、ツル切り等の作業を進めながら仕上げていった。猛暑続きの先週に比し、朝夕だいぶしのぎ易くなったものの風もなくかなり蒸し暑い中での作業であったが、登山道に行くハイカーから

”ゴクロウサン” ”アリガトウ” の声を励みに無事に作業を完了。新人も手ノコながらそこそこ大きな木の伐倒に汗を流しながら挑戦していた。

9月25日(土) 定例活動 <総会> 矢田山遊びの森

30名近くが参加。午前中は前回に引続き「野鳥の森」下草刈りに、一部は10月初めの奈良阪でのイベントのための準備並びに、財産目録を更新のための器具・備品の現品チェックを行った。

午後からは予め通知されていた“グリーンボランティアならクラブ”と“特定非営利活動法人 森づくり奈良クラブ”の平成21年度の総会に一部委任状も含め出席し、料理体験館で開催。

司会者により議長選出が行われ、まずグリーンボランティアならクラブの総会に入った。冒頭代表より会員の協力により各種事業・活動が無事に出来たことを謝し、今後も積極的に参加を呼びかけた。ついで過日矢田山遊びの森を管理されている県自然環境課ともたれたミーティングにもとづき、フィールドが県有地であること、風致地区、自然公園、近郊緑地保全地区並びに各種保安林故の諸々の縛りがあり、各種規定を遵守し、今後の活動につき皆と話し合いながら進めていくことが重要との報告があった後、議事に入った。

第1号議案 平成21年度事業報告

第2号議案 平成21年収支決算報告 引続き監査報告

第3号議案 平成22年度事業計画(案)

第4号議案 平成22年度予算(案)

第5号議案 NPOへの移行について

第6号議案 役員改選

各議案毎に事務局より説明の後、いずれも拍手多数で承認され閉会。

引続いてNPO法人 森づくり奈良クラブの総会。

第1号議案 設立までの経過報告

第2号議案 平成21年事業報告

いずれも承認された。

昨年10月の設立総会以後、本年度末である9月末までは準備期間にとらえ、前年度よりの継続事業については存続させるグリーンボランティアならクラブで行い、NPO法人としては新規事業とし「ふるさとの森」再生事業、特定事業(間伐と間伐材の利活用)、セブンイレブン緑の募金「NPO法人格取得助成」(第2期)の助成決定を見ていることの報告があった。尚、平成21年度の決算及び22年度の活動方針については、12月開催予定の臨時総会で提案されることとなった。

9月29日(水) 選木・枝打ち技術研修 (林研一吸収源対策助成対象事業)

5年目となる本事業、本年度第1回目の研修として実施。午前中は日笠町城森氏所有の30数年生ヒノキ林において、選木の要領を聞いてから、4本に1本を目途にテープを巻きつけていった。その後一部間伐を実施。樹高が20mを超えるもので、かかり木となること避けられず、ロープをかけて皆で力を合わせ引き倒した。午後は場所を替え、やはり同氏所有の16年生ヒノキ林の枝打ち研修。一本梯子や木登りステップを使い、樹高の60%を目安に(樹冠40%を残す)枝を切り落とした。作業途中近くの市道脇の溝に脱輪した軽自動車から助けを求められ、皆で持上げるというハプニングがあった。

<<10月よりNPO法人として本格的活動に入ったのに合わせ、会報もタイトルを改称>>